

【2026 年度/専門科目領域/専門科目群/人間コミュニケーション学科】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
福祉心理学専門演習Ⅳ		必修	2	4	後期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
渡邊 隆文	B307	t.watanabe	水曜日 12:10～13:00		
授業の目的・概要	<p><目的>「福祉心理学専門演習Ⅰ～Ⅲ」で積み重ねてきた福祉学を中心とした知識をさらに深め総括するとともに、社会人基礎力の概念と発信力や傾聴力など社会とのかかわりに必要な対人援助技術に関する知識及び多様な関係性に対応できる実践力を修得することを目的とする。</p> <p><概要>福祉心理学専門演習Ⅲで作成したワークシートを基に、グループワーク、プレゼンテーション繰り返し実施する。そして、社会人基礎力の技術に関する実技を修得し、その評価を踏まえさらなる技術を学修する。</p>				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習) <input type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 実習 <input checked="" type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> 実技 <input type="checkbox"/> PBL <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> その他 () <input type="checkbox"/> 反転授業 <input checked="" type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> ディスカッション・レポート <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク				
学習上の助言	社会人として必要なコミュニケーション力は生涯にわたり欠くことのできない力であることを意識するとともに、授業への積極的な参加が望ましい。				
教科書	特に指定しない。必要に応じてプリントを配布する。				
参考書	特になし。				
外部教材	特になし。				
学生が達成すべき行動目標			関連卒業認定・学位授与方針		
①	福祉学の基本的な専門的知識について理解し、説明することができる。		HC(5)		
②	社会に必要な対人援助技術の知識を理解し、説明することができる。		HC(5)		
③	社会人基礎力を身につけ多様な関係性について理解し、実際に活かすことができる。		HC(6)		
④					
⑤					
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	「福祉心理学専門演習Ⅲ」の総括及び社会人基礎力の重要性や学ぶことの意義について復習する。	演習	これまで学んだ社会人基礎力の基本について復習する。	2	
2	社会人基礎力を学ぶ(6) ～対人援助技術の実践力の向上を目指す①。	演習・ グループワーク	授業を復習し、実践発表に向け発表内容について吟味する。	3	
3	社会人基礎力を学ぶ(6) ～対人援助技術の実践力の向上を目指す②。	演習・ グループワーク	授業を復習し、実践発表に向け発表内容について吟味する。	3	
4	社会人基礎力を学ぶ(6) ～対人援助技術の実践力の向上を目指す③。	演習・ グループワーク	授業を復習し、実践発表に向け発表内容について吟味する。	3	
5	社会人基礎力を学ぶ(7) ～対人援助技術の実践を試演する。	プレゼンテーション	実践発表後、評価を踏まえた上で再度技術の確認及び復習を行う。	6	
6	社会人基礎力を学ぶ(8) ～対人援助技術の実践力の向上を目指す①。	演習・ グループワーク	授業を復習し、実践発表に向け発表内容について吟味する。	3	
7	社会人基礎力を学ぶ(8) ～対人援助技術の実践力の向上を目指す②。	演習・ グループワーク	授業を復習し、実践発表に向け発表内容について吟味する。	3	
8	社会人基礎力を学ぶ(8) ～対人援助技術の実践力の向上を目指す③。	演習・ グループワーク	授業を復習し、実践発表に向け発表内容について吟味する。	3	
9	社会人基礎力を学ぶ(8) ～対人援助技術の実践力の向上を目指す④。	演習・ グループワーク	授業を復習し、実践発表に向け発表内容について吟味する。	3	
10	社会人基礎力を学ぶ(9) ～対人援助技術の実践を試演する。	プレゼンテーション	実践発表後、評価を踏まえた上で再度技術の確認及び復習を行う。	6	
11	社会人基礎力を学ぶ(10) ～対人援助技術の実践力の向上を目指す①。	演習・ グループワーク	授業を復習し、実践発表に向け発表内容について吟味する。	3	
12	社会人基礎力を学ぶ(10) ～対人援助技術の実践力の向上を目指す②。	演習・ グループワーク	授業を復習し、実践発表に向け発表内容について吟味する。	3	
13	社会人基礎力を学ぶ(10) ～対人援助技術の実践力の向上を目指す③。	演習・ グループワーク	授業を復習し、実践発表に向け発表内容について吟味する。	3	
14	社会人基礎力を学ぶ(11) ～対人援助技術の実践を試演する。	プレゼンテーション	実践発表後、評価を踏まえた上で再度技術の確認及び復習を行う。	6	
15	「福祉心理学専門演習Ⅰ～Ⅳ」を振り返り、全体を総括する。	演習	これまでの内容を各自で整理する。	10	
試	達成度評価・評価のポイントを参照				

【2026 年度/専門科目領域/専門科目群/人間コミュニケーション学科】

達成度評価								
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計	
		0	0	40	0	60	100	
総合力指標	知識・技術力	0	0	5	0	5	10	
	思考・推論・創造する力	0	0	5	0	5	10	
	協調性・リーダーシップ	0	0	10	0	0	10	
	発表・表現伝達する力	0	0	10	0	0	10	
	コミュニケーション力	0	0	10	0	10	20	
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	20	20	
	問題を発見・解決する力	0	0	0	0	20	20	
評価のポイント						フィードバックの方法		
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点						
試験	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
レポート	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
成果発表	①	✓	与えられたテーマに関して求められている内容を発表できているか、相手にわかりやすく伝えているか（発信力）、相手の話を丁寧に聞いているか（傾聴力）などに関して評価する。				発表後に講評及び解説や補足の講義を行う。	
	②	✓						
	③	✓						
	④							
	⑤							
	⑥							
ポートフォリオ	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
その他	①	✓	ワークシートの作成やワークへ積極的に取り組んでいるか、授業に意欲的参加しているかなどについて、総合的に評価する。				ワークシートについてはコメントを付し返却する。ワークに関しては個々に講評及び解説や補足の講義を行う。	
	②	✓						
	③	✓						
	④							
	⑤							
	⑥							
備 考								
他 担 当 教 員	なし。							
教員の実務経験								
実践的授業の内容								
そ の 他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学生は必ずいずれかの教員のクラスに所属すること。 ・ 科目担当教員は複数クラスを開講するため、教員が示したクラスを履修登録すること。 ・ 教員が示す授業方法を遵守すること。問題がある場合は対面授業の参加を認めないこともある。 							